

も定期大会の圧倒的成功をかちとろう!

日刊 動労千葉

81.10.9

No.864

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五六(公衆)四三(22)七二〇七

第十九回支部代表者会議は、十月七日十三時より開催され、軍事大国化・反動化攻撃、右翼的労戦統一策動、国鉄三五万人体制攻撃という厳しい情勢の中で、動労千葉が戦闘的労働運動の再生へ向けて闘い抜いてゆく方針を確立すべき第六回定期大会の圧倒的成功へ向けて、全力で取り組むことを確認・決定した。

かちとるべき課題

自民党・鈴木内閣からの軍事大国化のための労働運動再編(産報化)攻撃と、それに内部から呼応するものとしての「統一推進会」の「基本構想」は「一字一句修正しない」「基本構想」を認めない者は排除する」という強硬な攻撃に揺さぶられ、ジュウリンされ、分裂過程へ突入している総評。このような中で国鉄労働運動圧殺を最大の獲得目標とする国鉄三五万人体制攻撃が、職場・生産点の第二マル生攻撃という形で強められつつある動向。支部代は以上のような情勢について確認し、第六回定期大会で獲得すべき課題として大要次の通り確認した。

1. 勝ちとるべき課題
 - (1) 軍事大国化攻撃と対決する反戦・政治闘争
 - (2) 軍事大国化に見合う国鉄つくりII三五万人体制粉碎
 - (3) 権力・当局と「本部」革マル反動分子一体となった組織破壊策動粉碎、土屋一派解体・一掃、組織強化・拡大
 - (4) 右翼的労戦統一反対・動労大改革
2. 当面する具体的実践課題
 - (1) 10・11三里塚現地集会、10・21国際反戦デー闘争への圧倒的結集
 - (2) 本原線廃止反対、検修民託化阻止
 - (3) 「支援基金」ひとりひとりで獲得運動の実践(マル生的激動の中で闘い抜く組織体制の強化)

10・11三里塚を突破口に 全力をあげて秋年闘争へ

支部代は第六回定期大会について、その他、執行体制の確立、組織・財政基盤の確立、規約の一部改正等々のかちとるべき課題についての大会論議を深めてゆくことを確認した。

また、当面する秋年闘争の取り組みとして、日本階級闘争の最大の焦点としてある「10・11二期着工阻止三里塚現地集会」にあるということも踏まえ、オルグ態勢等万全の組織態勢を確立し、最大限動員をもって決起することを確認した。



大会を成功させ、10.11三里塚へ!
各職場での精力的なオルグが進む
津田沼電車区にて・9月下旬

職場・生産点の闘いに踏まえた 活発な討論をまき起こそう!

第六回定期大会は、敵の攻撃が右翼や同盟青年隊等の一定の運動的基盤を持った動きとして現実化している中で、大衆的政治闘争への盛り上がり右翼的労戦統一策動を打ち破ってきた日本労働運動の歴史の教訓に踏まえた大衆的に実践できる方針の確立が問われている。
その意味で動労千葉の三里塚・ジェット闘争の今日的意義は絶対であり、八三年トリプル選挙↓改憲という敵の攻撃に対し、大衆的決起をもってする対決軸の構築へ向けて、職場・生産点の闘いに踏まえた活発な討論をまき起こし、第六回定期大会の圧倒的成功をかちとってゆこう。

当面するスケジュール

10月9~10日	第六回定期大会
10月11日	三里塚現地集会
10月15日	サークル協ソフトボール大会
10月17日	サークル協囲碁・将棋大会
10月20日	10・21国際反戦デー千葉県集会
10月21日	10・21国際反戦デー全国集会
10月22~23日	県労連青年協10・21集会
10月27日	サークル協野球大会
11月1日	「6・12」告訴事件第一回公判 第三回団結祭典